

## 図書館利用者と大泉図書館長との懇談会

- 1 日時 令和元年 11 月 2 日（土） 10 時～11 時 30 分
- 2 場所 大泉図書館 2 階 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 19 人  
図書館 5 人（大泉図書館長、館長代理 2 人、学校総括支援員、書記）
- 4 テーマ 「開館 40 周年を迎える大泉図書館のこれからを考える」
- 5 配布資料 (1)「練馬区立図書館ビジョン 項目別取組状況について」  
(2)「大泉図書館開館当時の様子」  
(3)「大泉図書館の事業を紹介します!」
- 6 次第 (1) 大泉図書館長挨拶  
(2) 図書館職員紹介  
(3) 事業紹介  
(4) 懇談

### 図書館利用者と大泉図書館長との懇談会 議事録

#### 1 大泉図書館長挨拶

それでは定刻となりましたので、はじめさせていただきたいと思います。

これから「練馬区立大泉図書館 令和元年度 図書館利用者と図書館長との懇談会」を開会いたします。

本日はお忙しい中ご来館いただきまして、どうもありがとうございます。

本日の懇談会ですが、最初に前年度の利用者懇談会以降に実施いたしました事業からピックアップしていくつかご紹介させていただきます。後半は、本日ご出席いただきました地域の皆様、図書館を利用されている団体の皆様、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。

今年度のテーマは「開館 40 周年を迎える大泉図書館のこれからを考える」です。

11 時 30 分までの短い時間ではございますが、最後までよろしくお願い申し上げます。

#### 2 職員紹介

館長代理 2 名、学校支援員

#### 3 事業紹介

令和 2 年 2 月 1 日に大泉図書館が開館 40 周年を迎えるため、写真資料をもとに開館当時の様子をお話ししました。また、「練馬区立図書館ビジョン」を踏まえて、「大泉図書館の事業を紹介します!」と題した参考資料をもとに、昨年度の利用者懇談会以降に実施した事業の中から当館に特化した事業を紹介しました。

#### 4 懇談

**利用者** いただいた「練馬区立図書館ビジョン 項目別取組状況について」ですけど、これはどういうものですか？

**図書館** 「練馬区立図書館ビジョン」というものが、平成 25 年に策定されています。こちらは、平成 25 年から概ね今後 10 年間の練馬区立図書館のサービスについて示したものです。そのビジョンに沿いまして、項目別にどのように練馬区の図書館が取り組んできたかを今年の 6 月にまとめたものが発表されています。これは練馬区立図書館のホームページ上にもアップされていますが、今回はこういった懇談会に来てくださった皆様に対して、資料として配布したものです。このビジョンの中で、それぞれの項目が全部紐づいていまして、その取り組みの目標に対してどのように取り組んだかということが横に見ていくとわかるような形となっています。

**利用者** 当然、大泉も関係してるってことですね。

**図書館** そうですね、ここに載っていることは、練馬区の図書館がどんなことをしているかが網羅されているものです。去年の懇談会でどうなってるのかという質問がありました、それにお答えしているものです。

**利用者** 今図書館から話がありましたように、これは平成 25 年に、大々的にビジョンを作ろうということで作りまして、去年が 5 年目だったんです。それで結局 10 年目のものに該当するものであるということでありましたんですが、あまり長いので、5 年で検討しようと、中身がね、それで検討もできてます。これはあの、図書館でも持ってると思うんですが、ただ、あまり期待してたほどではなかったんで。私は批評はしません。しかし、お目を通していただければと思います。それから今図書館は 1 枚折ったものを出されたんですが、全部載せたものがございますので、私も 3 つか 4 つしかないですけど持っていますので、ご必要があれば差し上げてもよろしいかと思っています。

**図書館** ありがとうございます。図書館にも詳細版がございますので、ぜひご覧ください。ではご意見、質問などございましたら挙手をお願いいたします。

**利用者** 私が考えていたことを話させていただきます。来年は 40 周年。40 周年になるので何かやられるということなので、来年にそういうのがあるなら、我々もですね、利用者の会を立ち上げればどうかと思います。

利用者の話をする前に、光が丘はもう 30 年もやっていますんで、見学に皆さんをご案内してもよろしゅうございますし、いろいろしてから、利用者の会を検討いたしまして、他のところにもですね、私は利用者の会を残りの 11 に、全部に作りましょうというので各館訪問していますので、全部のどこにお話してあります。それはいかがかと存じまして、お話しして検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。

**図書館** ありがとうございます。利用者の会というのはやはり 1 館だけっていう訳では

ないので、それにつきましてはまた光が丘図書館にお話しいただければと思います。そういったご要望があったことは光が丘に伝えておきます。

**利用者** 光が丘の問題じゃないんです。これは館内でのことです。

**図書館** 利用者の会については、全館に関わることであるので、そのように光が丘図書館に伝えておきます。

**利用者** 来年の2月1日で40年というのは何とも早いなあと思って。40年経ってしまった、と感慨無量でありますけれども。いろんなことがありますけども、今の利用者懇談会の件ですけど、大泉図書館ができましたときやっぱあの利用者懇談会を作った方が、いえ利用者の会を作った方がいいんじゃないかという意見もあったということなんですね。ですけども、その中で会という組織じゃなくて利用者のひとりひとりが図書館にいろんなことを自分の要求をしていくというようにすべきじゃないかという意見を強く言われた方がいて、そうなって利用者の会というのはできなかったっていう、そういういきさつがあったと私は記憶しています。その主張をしたのは私じゃないんですけども、私の考えでもありませんけども、私はまだその頃は本当に今の歳の半分の年齢で、それで、皆さんがいろいろ運動されている、わかやま先生とかいろんな方が、この地域の方が運動されているあとからくっついていただけたんですが、そんないきさつだったと思います。それで、そういうふうにそう思って私もずっと、図書館には個人でいろんな要求とか意見を言ってきたつもりでいます。

**図書館** ありがとうございます。40年というのは短いようで長い年月なので、そういった開館当時のいきさつをお話しいただくのはとてもありがたいことだと思っています。開館記念日が、2月1日と、年度末に近いので、開館40周年に係る事業としましては、今年の秋の読書週間の期間から来年度の読書週間の期間の間くらいの間で事業を実施しようと思っています。今年度の読書週間の記念行事としまして、直近なんですけど11月4日に松本清張に関する文学講演会を予定しています。松本清張さんも練馬区に住んでらっしゃった方で、練馬区在住の時にいろんな作品を執筆されているということもあります。それ以外に検討中のものですか計画中のものもありますので、随時またお知らせしていければと思っています。

**図書館** 他に何かございますか。

**利用者** 藤沢周平の会です。いろいろと、事業をたくさんやっていらっしゃるのを今日拝見したんですが、具体的にはどんな形でアピールというか、広報として、具体的にどんなメディアで案内をされてますか？結構面白いこともやっているのですが、案内を拝見していないので、申し訳ないんですけど。

**図書館** 練馬区の広報メディアとしてはいちばん皆さんご存知なのは練馬区報だと思いますが、練馬区報に図書館が載せられる事業というものには条件がございます。区内全域に情報を広めたいものということと、定員30人以上募集の事業であることがあります。また、図書館の枠というのもありまして、1年に3つ規模が大きい事業を載せるようにしています。その次は、毎月発行しています「大泉図書館

だより」というのがございまして、そちらに開催する事業については載せています。また、練馬区立図書館のホームページへの掲載もあります。それ以外には、今日皆様の椅子に置かせていただいていますイベント案内のチラシは、それぞれの事業について作成していますので、そういったものを館内に置いています。

**利用者** あとは、地域の図書館、例えば私石神井に近いんです。石神井図書館に置くとか、よその図書館に置くとかということもございしますか。

**図書館** そういったチラシは、練馬区内の他の図書館にも送って掲示をお願いしています。

**利用者** 掲示していますか。

**図書館** 送付先の図書館の事情もあり、他の図書館からも来ますから、全部が掲示できるかはそれぞれの図書館の判断となります。

**利用者** それぞれの参加人数が結構、20人30人とありますが、結構満員なんですか？

**図書館** 事業によって定員は様々ですが、大きい事業ですと50人定員となりますが、例えばワークショップなどですと、定員の設定は少なくなりますが。おかげさまで大泉図書館で実施している事業はその定員に対して、80パーセント以上の参加率となっています。お子さんが参加するものは当日の体調とかもありますので、数が減ることもあります。

**利用者** それぞれ職員の方も現場にいて、いろいろご用をなさったり案内をしたりしているわけですね。

**図書館** その事業の担当者ということですよ。もちろんそれはしています。

**利用者** ここ中の仕事しながらという意味ですね。

**図書館** そうですね。

**利用者** この資料の中に読書会そのものはないですけど。読み聞かせも含めて。

**図書館** 今回の資料中の事業は本当に一例なので全部載せられているわけではないですが、読書会というくくりでは、2年くらい前から「大人のための絵本の会」という事業を隔月で実施してまして、参加者が持ち寄った絵本で、人に勧めたい、お気に入りの絵本を紹介してみんなで楽しみ合うというような会を実施しています。今回は資料を添付していないのですが、図書館としては、本に親しんでいただくことを目的としてそれぞれの事業を行っています。従いまして、今日皆様のお席に置いている鳥に関するイベントにつきましても、庭園で鳥を観察するだけではなくて、図書館には関連資料がありますので、手に取っていただけるよう展示を行っています。

**利用者** 今年初めてそこのベランダの下、1階の庭園で花を植えさせていただいて、今でも残っておりまして。実はそれですね、庭園はあのまま置いていくのはもったいないと。それはなぜかという、夏目漱石を読む練馬読書会でも、打合せをしたら、何かそういう場合に場所がないんですよ。それであれだけの広さがありますからあそこに何か建てただけだと思うんですが、それはどこもそうなんです。一昨日、石神井図書館へ行ったんですよ、石神井が2階にテラス席を作

ったので見せていただいて、あれでいいと思うんですね。あれくらいの場所なら打合せができますから。ちょっと打合せするのに、中で話をするとう声を出さないで下さいっていうし、ちょっと他のところで話が出まして、それはどのところも困っているからということで終わったんですけども、光が丘でもその話を私は9日にしようと思っています。ひとつ考えていただけませんか。

**図書館**      ありがとうございます。庭に何かを建てるというのはなかなか難しいのですが、先程おっしゃった石神井図書館のものについてご説明しますと、先ごろ石神井図書館の2階にテーブルと椅子が設置され、そこでお話ししたりできるようです。

**利用者**      外ですか。2階の外ね。ベランダみたいなところですか。

**図書館**      そちらに作られたんですけど、そこも図書館の閲覧席という扱いになるので、ある程度の制約はありますが、大泉図書館ですと1階はご覧のように木もいっぱいあるのでなかなか見晴らしのいい場所はありませんが、2階の庭園もちょっと暑いですね。大泉図書館ですと、すぐに何かというのは難しいと思います。

**利用者**      簡単なものでいいですよ。

**図書館**      本当は屋内でちょっとした打ち合わせスペースみたいなのがあればということですよ。それぞれの団体の方が2時間3時間使われるのとは別に、ちょっとした打ち合わせスペースみたいなのがあったらという感じですね。それについても光が丘とも相談しながら検討してまいります、お時間いただくかと思います。

**図書館**      ほかに何かご意見ご感想ありますでしょうか。

**図書館**      今回は「40周年を迎える大泉図書館のこれからを考える」ということで、図書館側として考えて実施してきた事業をご説明しましたが、大泉図書館の向かっていくべき方向とか、何かこんなふうになったらいいという、すぐに実現できそうなことでも理想形でもかまいませんので、ご意見をお聞かせいただけたらと思います。そもそも大泉図書館の成り立ちが皆さんのご要望やご意見で立ち上げられた図書館なので、40周年という節目を迎えてその先を、どのような図書館だったらというイメージを持ってらっしゃると思いますので、こういった機会に近隣の方にお話を聞けたらなと思って今回こういうテーマにしています。ぜひ、どんなご意見でも構いませんのでお聞かせ願えればと思います。

**利用者**      練馬おはなしの会のものです。40周年にあたってということですが、なかなか具体的には考えは、こうしたらっていうようなのはないんですけども、この40年間をずっと振り返ってみまして、はじめに地域に開かれた図書館ということでスタートしてるはずなんですね。それが本当にいろんな分野で、なんですか「ニューヨーク公共図書館」じゃありませんけど、読書、本ということだけに限らずですね、本当に地域の農家の方とのイベントだとかその他にいろんなことを計画されて、次々いろんな層の人たちに合うようになさっているなということは思っています。それから先ほど読書会みたいなのは、ということ言われましたけども、図書館が企画してっていうのはあんまりないかもしれませんが、ここを利用している利用者の方ではいろんな読書会があると思いますし、私たちもこの図

書館で本を集めていただいて毎月絵本をみる会、年に2回は新しく出た本をみたり絵本をみたりとかそれから毎月テーマを決めて本をみているんですが、そもそも子供文庫に関わっていただけだったので、絵本をみるものさしを持たなくちゃいけないっていうんで42、3年前に始めた会なんですね。そういうことをしていますし、同じような会がいっぱいこの大泉図書館を拠点としてあると思っています。やっぱり、一番の中心は、読書、本だと思うんですね。そここのところを中心にして、また考えられることを続けていってくださればなと思っています。

**図書館**    ありがとうございます。最初にご説明した時にお話ししていませんでしたが、確かに大泉図書館ではいろんな団体の方が活動されています。その中で、これも一例ですが、例えば夏目漱石を読む練馬読書会や、朗読のいずみさんなどは、ここで発表会ですとか講演会をされていらっしゃるんですが、そういう時には図書館が微力ながらお手伝いさせていただいています。今年の夏目漱石を読む練馬読書会の講演会の時には、事前に何度も打合せをさせていただきまして、テーマに沿った図書館の資料を集めて講演会にいらっしゃる方に見ていただくということもしていますし、朗読のいずみさんについては、会場設営ぐらいしか私たちはお手伝いできませんでしたが、全般的には広報の部分で少しでもお力になればということでお手伝いさせていただいています。まずは、こんなこと企画してるんだけど図書館として協力してくれませんか、ということをお問い合わせいただければ、できる限りのお手伝いをしようと思っています。

いろんな企画がある中で、他の場所でやるよりも、図書館って地域の方に来ていただくにはとても敷居が低い場所だと思っています。それと、図書館はそれぞれの分野のいろんな資料を多く所蔵している場所でもあります。何か困り事があったり何か調べようとする時には、やはり図書館の資料というのはとても重要な役割を果たすと思っていますし、何かを調べたい時に必要な資料がなければ図書館であれば購入を検討することもできますので、そのような部分で役に立てればよいかなと思っています。

**図書館**    他に何か、40周年ということで大泉図書館に望むこととかこれからの方向性についてなど何かございませんか？

**図書館**    そんな難しいことでなくても、ぜひお聞かせいただければと思います。常に考え毎日運営していますが、考えが足りない部分もあると思いますので、ぜひヒントになるようなことを教えていただければありがたいです。

**利用者**    みどりのまちづくりセンターです。今大泉図書館さんの事業の中で、西本村憩いの森についてご紹介していただいたんですけど、40年という長い中で、この1～2年くらいなんですけど、図書館の方にいろんな団体さんと繋いでいただいて。地域の方々とすごく繋がりがあって、逆に私たちはありがたいなと思っています。ありがとうございます。その中で私たちの希望になってしまうかもしれないんですけど、西本村憩いの森でも区民の皆さんに憩いの森を管理運営していただきたいということで、今団体を作ってその団体を育てているところなんですけど、そ

んな中で、やっぱり図書館さんと一緒に憩いの森も大人だけではなくてお子さんたちにも知ってずっと愛される森にしたいと思っていますが、なかなか学校との連携が難しい課題を抱えています。そんな中で、児童・学校との連携で図書館を使って調べようっていうようなことをやって、夏休みにはこちらの図書館でそういう事業をやるにあたり、調べる題材になるものもいろいろあると思うんですけど、例えば図書館ではなくて、近くにある憩いの森には生き物や植物とかもあり、憩いの森でもそういったものを調査したりして調べているので、西本村憩いの森も活用しながら、連携しながら事業を行うことも考えていただけるとすごくうれしかなと思います。

**図書館**     ありがとうございます。いろいろ手さぐりでやっているところなので、繋がっていろいろやることは常に考えています、いろいろ検討していければと思います。今後のことにつきましては、ご相談させていただければと思います。今回、西本村と繋がって、一歩ずつっていうところもあるので、ぜひやれればと思います。また、学校勤務のご経験からどういうふうに連携できるかということをひとことお願いできますか。

**利用者**     大泉学園緑小学校で3月まで校長をしておりました。図書館は昭和55年に開館ということで、緑小学校は2年ぐらい前に開校してしまして、ほとんど歴史がかぶってございまして、一緒にこの地域の歩みを作ってきたのかなと思っています。図書館にはいろいろ学校の方も支援をしていただいて、支援員が来ていただいたりしているんですけど、今のご質問は西本村の件ですか。その公園ですか。

**利用者**     そうですね公園というか森になっているんですけど、なかなかちょっとわかりづらくて、意外と地元の方も知らなかったりします。

**利用者**     坂を下りたところのテニスコートの向かい側です。

**利用者**     私も最近まで知らなくて、ここにこんなに素敵な公園があるということを発見して、校外学習でちょっと生活科の学習とかで、だいたい大泉公園に行っていましたけども、そこのかわりにあそこの公園をと考えたらちょっと狭いんですかね？大泉公園に比べると。まあちょっとそういう活動ができるのであれば考えますけども。活用の仕方もあるのかなと思います。

**利用者**     私たちもまだ始めたばかりということもあり、あの憩いの森自体の管理、草刈りとかもそうなんですけど、そういった日常的な管理も業者さんではなくて区民の皆さんが、ボランティアでそういうことをやっていくだけでなく、イベント的なことも連携させてやらせていただいているんですけど、やっぱり大人だけではなくて、お子さんたちにもぜひ使っていただきたいなっていうところがありまして。

**利用者**     イベントに参加してっていうことですか？

**利用者**     もちろんそうですね。本当に様々なんですけれど、イベントに参加していただきたいというのもありますし、例えば草刈り大会をやりたいみたいな、お子さんを集めてやりたいというような時に、周知とかなかなか難しくって。先程おっしゃっていたんですけど、どうやって周知されているのかという部分が気になり

ます。私たちも図書館頼みになってしまったりということがあって。ホームページとかにも載せてはいるんですけど、やはり全区的なものになってしまうので、そういった時に例えば学校に、こういうイベントをやるのでぜひ参加しませんかというようなチラシの配布というのは、図書館を通じてじゃないとなかなか難しかったりする…。

**利用者** そうですね、学校にはいろんな話が来ますので、一応いろんなものを置いたりするのは、区の教育委員会の後援があるとか、あるいは都の教育委員会の承認があるとかね、また区の教育委員会がこういう活動に参加するようにといった指示があれば可能になりますので、そういったルートを通したものは学校では掲示したりチラシを配ったりできるのですが、それ以外のいろんな団体のチラシを配るというのは、地域の町内会のお祭りのポスターを貼ったりとかといったことはしていますけど、それはまた地域との長いつながり、関係の中でやっていますのでね、図書館のイベントの一環であれば学校としてはそれも掲示したりするには問題はないと思いますが、やはり一団体を、活動のポスターを貼ってくれってなると、お断りするようなケースが非常に多くなっています。

**利用者** ありがとうございます。

**利用者** 今おっしゃった西本村、今回の資料があるのは図書館としてはどういうお手伝いをなさったんですか。

**図書館** 庭園に花を植えるイベントの方なんですけど、ベストディッシーズという団体の方たちが野菜や花の販売をするのに場所を探してらっしゃって、図書館のピロティ、入口のところですよ、あそこの場所を貸して欲しいというお話が区を通じてありまして、それが始まりだったんですが、野菜を買いに来たり花を買いに来たりして人がいっぱい集まってくるのであれば、その方たちに図書館の中に入っていていただいて図書館を使っていただきたいという思いがありまして、2年目からは図書館側でも何か連携して事業ができればいいなあとということで、打合せを重ねてどんなことができるか検討して始まりました。最初はベストディッシーズさんと大泉図書館と大泉保健相談所という近くにある保健相談所が連携してありまして、保健相談所の栄養士さんの立場から野菜をいっぱい摂って食生活を豊かにしようというお話をしていただくミニ講座があり、そのお話にからめて図書館にある関連資料を展示して参加者に見ていただきました。その後、ベストディッシーズのメンバーの園芸農家さんが、じゃあ花を図書館で植えてみないかというお話をいただいて、図書館の庭もちゃんと耕していただいて花が植えられるような環境を作り、参加者みんなで花を植えてみようということになりました。そうすると、花を植えたあと花が咲いたりするのを図書館に見にいらっしゃるでしょうし、じゃあ見に来たついでに本を読んでみようかなっていうように思っただけでいいなと少しずつ進んでいきました。販売の時にいろんなお惣菜だとか食べ物を売ったりするんですけども、図書館ですとそれを食べたりする場所がないので、



ちょっとした飲食可能な場所が欲しいねということがありまして、みどりのまちづくりセンターさんとは別の事業で協働していて繋がってまして、図書館とベストディッシーズさんと保健相談所は繋がっていたので、これを全部繋げて一緒に何かやりましょうっていうことで、今回は西本村憩いの森で、飲食スペースも作っていただきました。せっかくそこにスペースができたので、今回の資料の中で、右下に記載されていますように、買ったものを食べていただくスペースとして活用したり、西本村でじゃんけん大会などをしていただいたり、その時に森もりファンクラブの方たちにお手伝いいただくというふうになりました。これを見ていただくと、園芸農家の方がお花のことについてお話をしてくださって、みんなで花を植えて、西本村に行って違うイベントにも参加してっていうことになり、図書館が真ん中に入って、みんな、地域の皆さんをつないで一つのイベントをやっ払いこうというように進んでまいりました。この大泉ファーマーズマーケットの打ち合わせをしていく中で、せっかく近くに森があるんだから、そこで何かおたのしみ会、関わった人たちがいろいろプログラムを考えて、新しいイベントができたらいねっていう話がありました。今回これが初めてだったんですが、森もりファンクラブの方は森の中でできる自然遊びについてお話ししてくださったり、実際にワークショップをやってくださったりしました。大泉図書館は森に出かけて行って、そこで絵本や紙芝居や、大型絵本のよみきかせエプロンシアターを行いました。ベストディッシーズさんは「おいしい練馬」ということで地元農家の方のお話や野菜とか果物の試食ということをやって、まずそれぞれの団体なり図書館なりができることを持ち寄って、森でなんか楽しいことをやってみようかなっていう取組みになっています。

ひとつひとつはちょっとずつなんですけれども、いろいろ手さぐりして、いい方向にいろいろやっ払いけたらと考えてやっています。

利用者 年々継続していくんですか。

利用者 そうですね。ぜひ継続していきたいと思っています。

利用者 子供たちの参加は具体的には。図書館経由で今回は、やっぱり学校に直接はなかったんですね。

利用者 今回は図書館が主催でやっ払いくださったので、図書館の方でチラシ等を配っていただいた形です。

利用者 子供たちはどれぐらい集まったんですか？

利用者 企画がそれぞれ、3時間あったので、その中でテントへの出店はそれぞれ3時間ずっとやっ払いたんですけど、出し物はまあ30分ずつだったので、ひとつだけに参加したりとか、ふたつ出てみたりとかっていうことがありまして、子供たちだけの参加ですと、たぶんちょっと十数名にはなと思います。ただ、来てくださったお子さんに限らず、森もりファンクラブの大人も、やっぱり図書館さんがすごく上手でいらっしやって、大人が聞き入ってしまうような感じで、逆に宣伝ができてないことが、もっと知っ払いただけたら大勢のお子さんたちにも喜んで

らえるのかなって思ったので、そういうところで本当に少しずつ、図書館にも言うていただきましたけど、継続していきたいと思っています。一步步ずつですけど一緒にやっていけたらなと思いますので、よろしくお願いします。

**図書館** 今回の森のおたのしみ会もいちばん最初に図書館がやろうと言ったのではなく、ベストディッシーズさんという、本当は図書館で野菜を売ろうとしていた方が、それだけじゃなくて何かよみきかせやってみたいよねというお話をされて、図書館は当然プロですからできますけれども、森についてはまちセンさんがやってらっしゃるので、まずはやってみようかっていう形で進めたので、これが完成形ではなくて、ここからいろいろまた打ち合わせをしていい方向に進めていければなと思っています。

**利用者** 練馬区の図書館で、具体的に今のようなことを他でも行っているのですか。結構幅広いですよ、今の中身だと。

**図書館** そうですね、練馬区は広いので、大泉の近隣の方だったらわかるように大泉の住宅の中にあって、まわりに農家もあって緑もあってっていう環境ですよ。だから、この環境に合った形のものを考えていますし、例えば、もっと街に近い方でしたらその立地に合ったものを考えているでしょうし、それぞれの図書館の立地に合った形でいろいろ考えていらっしゃるのではないかと思います。

**利用者** じゃあ実際図書館もそういう、似たようなことなさっているわけですね。他の図書館も。

**図書館** それぞれ考えてやっているかと思います。

**利用者** 西本村憩いの森って、具体的にどういう形の所有になっているんですか？いつも坂で通るだけなんですけど。

**利用者** もともと憩いの森という場所が、練馬区が所有者さんからその土地を借りて、それで皆さんに開放しているんですけど、たぶん今現在 45 ぐらいあるようなんですけど、基本的には先ほど言った…。

**利用者** その 45 というのはなんですか。

**利用者** 憩いの森が 45 か所区内にあるんです。そんな中で、通常ですと区の方が業者さんをお願いして剪定や草刈りをやっているんですけど、区の方が今住民の方々と協働でということで、そういうところも地域に開放して、地域の皆さんで大事に守って育てていきましょうということで、なかなかあれだけ広い土地をじゃあひとりふたりでというわけにはいかないの、団体を作っていましょうということで私どもは委託を受けてそういう事業をやっているんです。

**利用者** 委託ですか。

**利用者** 練馬区から委託を受けてやっています。

**利用者** 何年ぐらいか。

**利用者** 西本村は 3 年かけてそういう団体を作りたいということで考えてはいるのですが、やはりただ剪定して草刈りしてというのではなくて、皆さん地域に根付いて愛着がないとここを守っていこうと気持ちにはなれないと思うので、そうい

うこともあって地域の方々ともつながっていきたいと思ってます。

利用者 広さは何平米ぐらいあるんですか。

利用者 練馬区でも2番目に広いです。

利用者 1,000 m<sup>2</sup>はある。皆さんは普段、公園みたいな形で利用してたってことですか？

利用者 開放されてますので、利用いただいて大丈夫です。

図書館 散歩道みたいな感じになっていたり、通り抜けるのに向こうからこちら側に出てこられるので、向こうの住宅街から出てきたりするのに使っていらっしゃいます。

利用者 出口は結構あるのですか。どこが入口になってるんですか。

利用者 大きな入口はそこが逆側にちょっと小さく抜けられるように。

利用者 なるほど、ここからだけじゃなくて向こう側にもあるんですね。

利用者 その西本村っていうのは場所がよくわからないんですけど、その駐車場ってどの辺にあるんですか。

図書館 ここを出てまっすぐ下って行くと、右手にマンションがあってちょっと砂利が敷かれていてフェンスのある駐車場があるんですけど、その先にアスファルトで、上がる坂があるんですね。奥に行かないと中ってどうなってるのかたぶんわからないと思うんですけど、駐車場だと思ってらっしゃる方が多いと思うんですが、途中まで上がるとそこから小道が続いていて、林があって少しベンチがあったりします。特に遊具とかはありません。すごく静かでいい所です。

利用者 テニスコートの向かい側です。

利用者 朗読のいずみです。先日は発表会の時にいろいろご協力いただきましてありがとうございました。今お話伺ってて図書館でもそうですが、いろいろな催し物企画なさって地域の活性化に活動されているっていうことがすごくよくわかったんですが、ひとつ私の提案なんですけど、ここで、図書館の取組項目なんか見ますと、図書館事業の参加、参画場面の拡大っていうようなことがあります。

どんどんそういう方向で向かっていらっしゃるの、よくわかるのですが、ひとつですね、ここにお子さんが、本を借りに来る人非常に多いですね。だから、大人が企画して、子供の読書活動の活性化というのも、もちろん続けてやってほしいんですが、子供自身がね、例えば私の読書の中でこういう本を皆さんに紹介しますっていうようなことで一部分興味惹かれるところをみんなの前で朗読するようなことで、私の紹介したい図書とかいうようなものをね、図書館が主体して子供自身に参加させて子供自身が発表する、子供も大人も集めてやるみたいなもの、そういう企画もぜひやった方がいいんじゃないかなと思うんですが…。これからの時代、AI、人工知能で、今ある仕事がほとんどなくなるんですね。だから、いかに子供たちが自主的に、自分自身の発想力で、自分たちの仕事とかそういうものを築いていくかっていう時代になるので、子供たちの企画力とか発表力とかっていうものを、図書館が主体で呼びかけて、子供たちが発表していただいて、我々も子供たちも参加するっていうようなものをね、ぜひ、何か新しい試みとし

てやっていただけたらと、ちょっと思いついたのですが。

**図書館** 子供が関わっているものとして、当館でもう実施しているものがあります。中学生がメインのものとしては「本友（ブックフレンズ）委員会」というのがあります。小学校入学前まではよみきかせなどがあるのですが、小学校に入ってから中学校に上がるまでのところは「ほんともキッズクラブ」というものがございませう。小学生の「ほんともキッズクラブ」では、子供たちが図書館を利用する同じような小学生に向けて、館内の表示を作ろうって、気持ちよく使ってもらおうという表示を自分たちで作ったりですとか、図書館の使い方など自分たちで壁新聞を作ったり、こんな本がおすすめだよっていうものを会以外の他の子たちにお知らせするという新聞を作ったりといった活動を毎月1回やっています。あとは、近隣の保育園の子に向けて、子供たちが年1回自分たちで本を選んで、よみきかせを行ったりもしています。

ブックフレンズの中学生の方ですが、自分たちで企画して、いちばん近例ですと11月17日に小学生からのお子さんを対象として「図書館カード入れを作ろう」という工作会を企画して、自分たちでチラシを作って進行して、という事業を予定しています。あと、年1回年度末に集大成として自分たちでビブリオバトルということで、本の紹介をしたりですとか、1年間に発表してきたポップを展示したりといった活動もしています。

**利用者** 結局そういうことやってらっしゃるのを例えばこの図書館で企画して、それぞれの発表のものを朗読、みんながして、呼びかけて、我々も子供たちも来るっていうようなね、イベントを公のこういうところでやるっていうようなこと、今までやってるのはわかりますけど、それ、一か所にまとめて子供の発信力を養うって言って、そういう企画、せっかくそこまでなさってる、個々になさってるものをもっと集約して一般の人を集客するようなものに持って行ってくださった方がいいんじゃないかなって。他の多くの人が興味を持って来るってことはとても大事だと思うので。

**図書館** キッズクラブも立ち上げから3年目ということで、だんだん子供たちも自分たちで発信していくというのに慣れてきて企画力もできていますので、今後そのような活動をしていきたいと思います。

なお、一言補足させていただきます。「本友（ブックフレンズ）委員会」はすでに6年目の活動を迎えています。1年間の集大成として先ほど申し上げたようにいろいろな活動の報告などを行っています。それはこの部屋を使いまして、一般の方どなたでもどうぞお入り下さいっていう形ではしていますが、ご存知ない方も多いということで、周知が足りなかった面もあるかと思っています。今年度の発表に際しては早速子供たちと検討させていただきたいと思っています。

**利用者** 練馬区立はつらつセンターと申します。大泉図書館には、ブックトークなどではつらつセンターにお越しいただいていつもお世話になっています。図書館で団体さんが今現在どれぐらい活動されているのかということと、それから、図書館

に視聴覚室とか会議室とかあるんですけども、こちらの利用状況って今どういう感じなのかをちょっと教えていただければと思います。

**図書館** 活動している団体数ですね。図書館のお部屋を使うためには団体登録を当然しなければいけないんですが、その中で実際に活動を定期的にされてるといってほしい20団体弱ぐらいになるかと思います。大泉図書館はこの視聴覚室と会議室といって、もうちょっと小さいお部屋とで2つの部屋があるんですけども、それぞれ1時間ごとの利用となっていますので、図書館の目的内利用、目的外利用という2つに分けられるんです。目的内利用でしたら、3か月前から予約して部屋を使っていただくことができます。目的外となるようなものでしたら、2か月前から予約をして使っていただくというかたちになります。部屋が使える時間というのが、図書館が開く9時から、図書館自体は8時で閉館しますが、夜9時までお部屋を使っていただくことができますが、なかなか、こういった立地なので、夜あんまり遅い時間にお使いいただく団体は少ないです。こういった時間帯も使っていただいています、まだまだ余裕がありますので、ぜひお使いいただければと思っています。

また、先ほど目的内と目的外という話をしましたが、図書館の内側での分けけです。詳しくお話すると、目的内というのはいわゆる読書会とか図書館に関わるような内容の会合ですとか、そういう団体が利用される時に使うのが目的内という言い方になります。図書館で使うのに相当する、ふさわしいような内容ということで目的内という言い方をしています。目的外というのは、具体的に言うと図書館とは関係ないけれども、例えば地区の防災活動をしている方の団体の会合ですとか、それから区が行う住民の方への説明会ですとか、あとはマンションの管理組合の方々が会合で使うなどというのが目的外というものになります。なので、3か月前、図書館の目的に見合ったご利用の方はちょっと早めに3か月前にご予約ができて、それ以外の方は目的外なので2か月前というようにご予約できる期間が決まっています。

**利用者** 団体の構成基準は何ですか。

**図書館** 今細かい規約が今手元にないのですが、団体の構成を簡単に説明させていただくと、構成員の半数以上が練馬区民であり、かつ、代表者が練馬区民である団体、練馬区内に所在する事業所または学校という方々にお使いいただけます。

**利用者** ありがとうございました。

**図書館** そろそろ時間が迫ってまいりましたので、他にこれだけはという方はどうぞ。

**利用者** 近くの大泉学園地域包括支援センターから参りました。デイサービスの建物の1階に地域包括支援センターがあるんですが、皆様に場所を説明してもわからないんですが、図書館の近くといいますと皆様わかってくださるんですが、私も昨年度から練馬区の事業で訪問支援員ということで70歳以上のひとり暮らしや高齢者のご世帯に一軒一軒お伺いさせていただいているんですけども、やはりちょっと、外に出たいけど場所がないですとか、

あと図書館に来たいんだけど来れないとかそういう方もいらっしゃいますので、私どもの方も図書館さんとまた、これから、これからいろいろ教えていただいて、いろいろ企画をしてやっていきたいと思いますので。また、介護と医療の相談窓口もありますので、もし何かありましたら地域包括支援センターの方にも、気軽にお寄りいただければと思います。ちょっと宣伝も兼ねて最後に、申し訳ありません。よろしくお願いします。

**利用者** 図書館に来られない、来たくても行けないとおっしゃりましたが、どうしてですか。

**利用者** 歩けなくなったとか、身体面の問題もありますし、前はよく行ったんだけど気がなくて来れなくなるような方もいらっしゃったりとか、いろいろあるので。

**利用者** その時サポートはできないのですか。

**利用者** サポートはできるだけしたいなと思っているんです、なにぶん昨年からの訪問支援員の事業が始まりまして、どういうふうにしたらいいかまだ考え中ですので、もし何かいいご意見などありましたらよろしくお願いいたします。

**利用者** 来たいけど来られないわけですね、それは残念ですね。

**利用者** そうなんです、なので、よろしくお願いします。

**図書館** 図書館に来たいけど来られないための方には、練馬区には資料を郵送するサービスがあります。そのサービスをお受けいただくのには、条件等ございますので、ご相談いただければと思います。

**利用者** ありがとうございます。そしたら早速、一軒一軒回っていますのでお伝えしたいと思います。

**図書館** 何か月に1回程度ですが、おでかけ図書館という事業のひとつとして、図書館のスタッフが、絵本や紙芝居、素話というもののや、早口ことばといったもので毎回趣向を凝らして皆さんにお楽しみいただけるような、図書館に来られないという方に対して図書館ってこういうことができるよ、こういう楽しみ方があるよっていうのを、これからの超高齢社会という中で、こういう使い方ができますっていうご案内や、こういう楽しみ方ができますっていうご案内をさせていただくために、図書館から外に出ていくサービスを行っています。これからもいろいろ工夫させていただいて、定期的に伺いたいと思っています。

**利用者** 先ほど言い忘れたのですが、練馬区立はつらつセンター大泉でも会場貸しとかですね、交流コーナーというのがございますので、ぜひそちらのほうも近くですのでご利用いただければと思います。はつらつセンター大泉というのは、練馬区の60歳以上の方を対象にした施設ですが、交流コーナーに限りましては、年齢関係なくご利用いただけますので、ちょっとした打ち合わせがあるようでしたら、ぜひそちらをご利用ください。

**図書館** 場所もご説明いただけますか。

**利用者** 関越高速道路の高架下で、大泉学園通りと交差したところにあります。

**図書館** リサイクルセンターの並びですね。

**利用者**      スペースを借りられるのでしょうか。

**利用者**      10 人以上の練馬区の 60 歳以上の方で利用証をお持ちの方でしたら、会場を取ることができます。例えば歴史を学びたいとかそういう会とかでしたら、そういう団体を作っていただいてご利用いただくこともできます。

**図書館**      はつらつセンター大泉にも、大泉図書館が伺わせていただいています。おでかけ図書館として、ブックトークとかさせていただいています。

**図書館**      では、お時間過ぎましたので、これで、本日は閉会させていただきます。

引き続き図書館の運営にご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。